

# 教会のはじまり

## 単元1 第1課

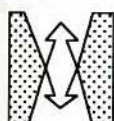
聖書 使1:1-14、2:1-41

暗誦聖句 エベ1:22

神は（いっさいのものの上に立つ）かしらであるキリストを教会にお与えになりました

### 聖書の真理

聖霊の降臨ではじまった教会は、キリストに属する人々によって構成されている。



### 目標

キリストの教会に属するすばらしさを知る。

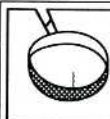
### 教師へ

イエスが頭である教会は、政治・経済・社会などの組織と全く質を異にしています。五旬節（ペンテコステ）の日に聖霊降臨という超人的な力によって確認された人々で構成された神の家族です。そして、互いに属しあっている人々によって、一つのキリストのからだを形づくっています。

しかし、教会に（目に見えない公同教会）属していても、教会の（目に見える地方教会）メンバーになっていないことについても教えましょう。目に見えないキリストのからだである教会に属することが、どんなにすばらしいかを感じさせ、属したいという気持ちを起こさせましょう。

### クラスのために準備するもの

- ・活動—世界の白地図、キリスト教年鑑、色えんぴつ
- ・掲示板のためのもの
- ・暗誦聖句—ツリーのためのカードと木の枝など
- ・礼拝—アンケートカード
- ・聖書—ペンテコステの聖画
- ・フラッシュカード（救いの道の）
- ・ワークブックと聖書、テープ（礼拝前に流す曲とテーマ曲の）



### 授業例

学びの前に ~9:00

・市販の世界白地図にキリスト教会の多少に分けて色をぬるようにする。今日は説明して色をきめる。

礼拝 9:00~9:15

賛美 テーマ曲

聖句 女子は詩122:1、男子はハバ2:20をよむ。

祈り 教会のあることを感謝して

お話し 「神さまの家族」

聖書の学び 9:15~10:00

導入 立って、ひとりぼっちと、グループの動作をする。

しかし、教会は特別のグループワークの導入をよむ。

聖書・視聴覚教材を用いて、教会が誕生したときを中心にお話しをする。

- ・ペテロの説教の概要と結果を短く話す。
- ・まとめとして、ワークの質問にこたえる。
- ・暗誦聖句の意味を説明しておぼえさせる。

適用 フラッシュカードで神の家族となる道を示す。

それに対して、応答するようにすすめて、ワークにその決心を書く。



## 学びの前に

### 〈活動〉

※ここに書かれている活動を全部するのではなく、クラスの事情によって選んで下さい。

・世界地図に自分の教団の教会所在地を調べて十字架のしるしをつけていく。又は、教会の多い国と少ない国を（キリスト教年鑑参照）白地図で（一般書店で購入できます）色わけしてもよい。

・掲示板を作る。

・暗誦聖句ツリーを作る。(1)

木の枝に短冊形のカードに絵や暗誦聖句を書いてつるす。



## 礼拝

賛美 テーマ曲

聖句 詩122:1（女の子） ハバ2:

20（男の子）よむ。

祈り 教会のあることを感謝して

お話し 「神さまの家族」

中級生の教会に対する気持ちを、アンケートする。

？ 日よう日が待ち遠しいか。

はい、まあまあ、いいえ

アンケートの結果を報告する—まあまあ—が多いのではないか。

なぜ —教会に行くのはほんとうはうれしい（待ち遠しい）はずなのに、どうしてか—その意味を知らないから。

教会は、単に聖書を学んで礼拝する場所ではない。神の家族に会うところだ。

次の五つの聖句を読ませて、家族には何が必要かを見つけさせ、黒板に書いていく。

Iヨハ4:11—愛、ガラ6:2—助け合い、ヘブ10:24—励まし、Iコリ12:25—思いやり、エペ4:25—互いに属している

祈り 一つの家族として、お互いにこのように教会でもできるように。



## 聖書の学び

### 〈導入〉

いっしょに居ることを感じさせるために、次のような動作をさせる。

まず、できるだけバラバラにひとりひとり離れた場所に目をつぶって座る。30秒くらいたったら、次に目をあけて丸くなって手をつないで座る。そして、離れて座ったときの気持ち（ひとりぼっち）と後の感じ（一つのグループ）を言ってもらおう。

教会は一つの特別のグループです。

ワークの導入の会話をよむ。今日はこのことについて、聖書から学びましょう。

### 〈本論〉

教会の誕生（使1:1-14、2:1-41）

いつ、どんな風にして起るのか分らないけれど、とにかく言われた通りに待っているとします。すると実際に言われた通りの事が起ります。そんな事がありますね。

※イエスの昇天後の弟子たちの淋しさや孤独感を十分に感じさせなさい。

この時の弟子達もちょうどそれと同じでした。

主イエスは墓の中から甦られて40日の間、弟子達に、ある時は家の中である時は道で、又ある時は一度に500人もの人達にお会いになりました。そして、いよいよ天にお帰りになる前、次のように大事な約束をなさいました。「あなたがたが大きな力を与えられ、わたしの証人として働くために聖霊がお出で下さるから、エルサレムにいてそれを待っていなさい。」エルサレムから約1.5km離れたオリブ山で、主イエスは皆を祝福されると雲の間をぬって天に昇って行かれました。

エルサレムに帰った弟子達はそこで言われた通りにじっと待っていました。聖霊がおいでになるというのはどんなことでしょうか？

そこはヨハネ・マルコの母マリヤの家ではなかったかと思えます。祈りのために集っていたのはイエスの11人の弟子達と、イエスの母マリヤ、それに兄弟達、そしてほかの婦人達その他でした。

その日120名ばかりの人が集っていました。イエスが天にお帰りになってから10日目、五旬節と呼ばれる祭りの日でした。その日聖霊がお



いになったのです。エルサレムの街には祭りを祝うために世界のあちこちから、ユダヤ人を始め外国人達がたくさんきていました。(地図で使2:9、10に出てくる国をすばやく示す)

時は朝の9時頃でした。にわか強い風が激しく吹いてきて、折っている皆の頭の上を吹きあれたように思いました。大きな音がきこえましたが風ではありません。舌のような火が見えましたが、でも火ではありません。とにかくこれまで一度もないふしぎな出来ごとでした。ただ、その火のようなものがそこにいた一人ひとりの頭の上にとまると、皆は聖霊に満たされました。イエスが約束して下さった通りでした。  
※ペンテコステの聖画をみせる。

誰かが神を賛美しました。すると次から次へと他の人達も同じように神を賛えました。部屋一杯に賛美の音が溢れました。けれども不思議なことに、よくきいてみると皆は、自分の知らない外国の言葉で賛美しているのです。これは聖霊が外国語を話す力を一人ひとりにお与えになったからです。神を賛美する声は増々大きくなり、喜びの声がひびき渡り、人々は何事が起ったのかとたちまちそこに集って、この賛美をきいていました。エジプトから来た人は「エジプトの言葉でうたっている者がいる」とふしぎそうに言います。リビヤから来た男はあつげにとられながら「シリヤ語で話してくれている」と言い、ローマから来た旅人は「神さまのふしぎなみわざをラテン語でかかしてくれるとは」と驚いています。「ガリラヤ出のこの人達にどうして外国の言葉が話せるのだろうか？」しかし、嘲る者もいました。「なに、酔っばらってるのサ」

そこでペテロと使徒達が立ち上り言いました。「皆さん、よくきいて下さい、これは酔っばらっているわけではありません。こんなに朝早くからだれが酒をのむでしょうか。これは昔神さまが預言者ヨエルに語られたあの事が実現したのです。『神は言われる。終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。』」それからペテロはイエスについて起った事を全部話してきかせました。(以下使2:22~36)イエスの死と甦り、そして今、神の御座の右に座しておられること、神は信じる者に聖霊をつかわされる事、今皆が見ている通りであると。人々は心を打たれ「どうしたらよいでしょうか」とたずねました。ペテロは聖霊に導かれるままに言葉を

続けました。「悔い改めなさい。それぞれ罪を赦して頂くために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば賜物として聖霊を受けるでしょう。」そこで、イエスを救い主として信じ受け入れました。この時、全部で3000人もいました。これが教会が生れた最初の日です。

#### 〈まとめ〉

- ・どんな事件があつて教会がはじまったのか。聖霊が与えられた—その結果—強調する。各国のことばを話し説得する力、罪を自覚させる力、信仰に導く力が与えられた。
- ・2:14と1:15を読み、悔い改めた人の数とはじめから集まっていた人の数、その合計によって教会が始まったことを確認する。
- ・1997年現在、1,955,229,000人のクリスチャンが世界中にいる(プロテスタント、カトリック、オーソドックス、聖公会を合わせて:ブリタニカ国際年鑑1997年版「世界の信者人口」より)。多くの迫害を越えて、小さなイスラエルの国から始まったキリスト教がこれまでに成長したのは、神の守りと導き、そして祝福があつたからこそである。
- ・教会に属することのすばらしさ(エペ3:21~3:26)を話し合う。
- ・暗誦聖句の意味を説明する。



#### 適用

どのようにして教会に属するようになれるか—信仰によってであるが、具体的に聖句から示す。

※黒板又はフラッシュカードにする。

ロマ3:23—自分が罪人であることを認める。

ロマ6:22—罪の結果は死である。

ロマ5:8—イエスが私たちの身代わりに死んでくださった。

使16:31—イエスを信じる。

使2:38—罪を悔い改めて赦しを得る。結果、聖霊をいただく。

ロマ6:23—永遠のいのちが与えられる。

ガラ3:26—神の子供となる。

○ワークの適用で各自の気持ちに○をつけさせる。正直になぜそのような気持ちでいるのかを述べさせて、子供の現在の状態を知り、それぞれの必要に応じて導きを与える。生徒用52